

## 一人ひとりの人権意識を高めよう

◎平成20年度人権を考える集い

12月6日、人権を考える集いが広見体育センターで開催され、約200人が参加しました。

はじめに、町内の小学生5人が人権についての作文を発表。日吉小学校6年の新谷星奈さんは、勇気を出していじめを注意した体験を話し「これから先いろいろな差別に出合っても目をそむけず、苦しんでいる人たちの気持ちをしっかりと考え、差別やいじめのない社会をつくっていききたい」と述べました。広見中学校3年の宇都宮千穂さん

▼講演する門田八重子さん



は、近所のおじいさんの死をきっかけに命の重さや人権について深く考えるようになったと話し「人権とは、誰かに愛され、必要とされながら生活を送ることではないか。だからこそ、差別や偏見で簡単に人を傷つけることがあることを忘れずに生きたい」と述べました。

また、元愛媛県婦人警察員で松山市教育委員会電話相談員や各種講師、指導員を務めた門田八重子さんが「地域で育てる人権の心」と題して講演。相談業務の中で寄せられた、学校や地域、社会でのいじめや差別の事例を紹介しながら話し「この世で一番大切なのは命。人を殺したり、自ら命を絶つたりすることは絶対にあつてはならない。人権を守るために、地域の一人としてふれあい、相手を思いやる心、励ましあう心を育てなければならぬ」と命の尊さと地域で人権意識を育てることの大切さを参加者に訴えました。

## 一人でも多くの自衛官を

◎自衛官募集相談員委嘱状交付式



▶委嘱を受ける鈴木相談員（右）

自衛官募集相談員の委嘱状交付式が12月1日、鬼北町役場委員会室で行われました。式には、町と自衛隊関係者、相談員など9人が出席。井上建司総務課長が「自衛隊を担う若者を一人でも多く募っていただきたい」とあいさつし、相談員へ委嘱状を手渡しました。今回委嘱を受けた相談員

は、竹田幸男さん（奈良）、鈴木理八さん（清水）、長尾一正さん（下鍵山）の3人。自衛官募集の際に志願者の相談に応じ、自衛隊に関する情報を提供するなど、地元と自衛隊とのパイプ役として平成22年までの2年間ご活躍いただきます。

## 詐欺・交通事故にご用心

◎オレオレ詐欺・高齢者交通事故防止研修会



▶振り込め詐欺の実態を話す和藤生活安全課長（中央）

多発している振り込め詐欺や交通事故の防止を図ろうと、11月12日、鬼北町老人クラブ連合会愛治支部（高田宥支部長）主催の研修会が愛治公民館で開催されました。会には、会員ら40人が参加。宇和島警察署の和藤秀人生活安全課長が宇和島署管内で発生している振り込め詐欺や還付金詐欺の実態を報告し「管内で被害が30件以上発生して

る。振り込む前に必ず第三者に相談してほしい」と呼びかけました。また、愛媛県警察本部交通安全課の野本敬三警部補が、最近の事故発生状況を説明し「反射材を活用するなど夜間外出時は目立つ服装を着用し、通り慣れた道でも油断せず、安全確認を徹底してほしい」と述べ、交通事故防止を訴えました。